

詳細調査や専門部署を

市議会
委員会

千葉市に空き家対策提言



少子高齢化や人口減少の進展を受け増加が懸念される空き家の対策について、千葉市議会都市建設委員会が政策提言書を取りまとめ、市に提出した。詳細な調査による実態把握や専門部署の立ち上げ、自治会との連携など10項目の政策を求めた。

同委員会は所管する都市建設行政の課題の中から空き家対策をテーマに取り上げ、1年間をかけて調査。

先進的な取り組みを行う東京都や神戸市を視察するなどして、千葉市が早急に取り組むべき政策を議論してきた。

提言書は、空き家の増加

空き家対策の提言書を提出した千葉市議会都市建設委員の委員ら＝市役所

の恐れに「市民から不安の声が寄せられている」とした上で「発生予防や活用可能な空き家の流通促進につながる取り組み、特定空き家などへの指導体制を速やかに検討する必要がある」と指摘。詳細で有効な実態調査などに加え、速やかな行政手続きの実施に向けた標準的な対応期間の設定、福祉分野との連携、地域との将来像共有なども要請した。

同委員会の松坂吉則委員長は「昨年春の市議選で多くの市議が選挙区内を回り、空き家の増加を実感している。街の活気が失われないよう、空き家対策は今後の街づくりの基本になる」と、早期対策の必要性を強調。神谷俊一市長は「重く受け止め、ひき返さない」

から具体化していきたい」と述べた。

国の調査によると、千葉市内の空き家は2018年度時点で別荘なども含め約5万7900戸。13年度は約5万2700戸だった。

市は、市民が寄せる空き家相談に対して各区の職員が行っていた現地調査などを新年度から外部に委託する方針。新年度当初予算案に空き家対策事業費として、前年度よりも約3千万円増額した約4100万円を計上している。

日報

6. 3. 15

が前進

柏市

跡地取得へ

再整備に向けた検討を進めている柏駅東口周辺

柏駅東口駅前再整備については、駅前地の権者の関係者が一堂に会し、まちの未来の在り方や目指すべき目標を共有する場として「柏駅東口未来検討委員会」を開催。検討委員会での議論を踏まえ、昨年5月、「柏駅東口未来ビジョン」をとりまとめた。

またた敷地を確保、順番に建て替えながらエリア全体を更新する「連鎖型都市再生」などについて議論し、方向性を共有。同ビジョンでは、「みどり豊かなゆめ」とある空

間といったまちづくりに必要な要素をふまえて、目指すべき「未来のすがた」を描いている。

市では、課題となつてくる駅前広場の改善や、駅前不足している広場空間を確保することなどを念頭に、2016年に閉店した旧さくら柏本店

既存建物の地上部は三井不動産が24年度から解体、土地引き渡しは26年度を見込む。地下部は市が活用にあたって解体する。2月には、地権者との意見交換や情報と認識の共有を目的に、第1回目

の地権者会合を開催した。「スカイブリッジ」ビル

や「柏駅前第一ビル」の地権者からは、「街が変わる千載一遇のチャンス」など再整備に向けた前向きな意見とともに、「先相から受け継いだ場所から移りたくない」といった意見も聞かれた。

紙面 公共 公告

佐倉で市民体育館改修
校舎の長寿寿命化3分
小学校新築を新日本

2 3 5

入札 (柏市)
入札 (千葉市)

入札ナビはこちら

空家対策の部署設立を

神谷市長に提言書提出

千葉市議会



提言書を手交する(左から)神谷市長、松坂委員長(千葉市提供)

千葉市議会の都市建設委員会(松坂吉則委員長)は、「空家対策に関する提言書」を神谷俊一市長に提出した。空家対策の取り組みを加速させるため、専門部署を設立することや調査業務を委託することなどを提案している。

同委員会では、都市建設行政の多くの課題から毎年テーマを抽出し、調査を実施している。喫緊の課題である空家対策をテーマとし、所管課のヒアリングや先進都市の取り組み事例などを調査し、都市建設委員会へ「空家等対策に関する提言書」をとりまとめた。

この対応初期の方向性が重要となることから、民間との協働による相談体制の充実や、取り壊しのための指導・勧告の迅速化など、状況に応じた幅広い対応を求めている。



県立柏特別支援学校 そこの建設予定地

災害協定8社と締結

空中撮影など応急業務

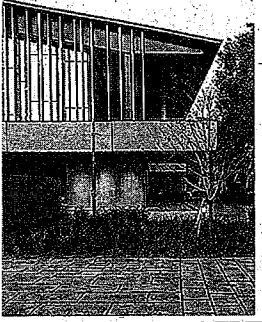
国土交通省利根川下流河川事務所は、災害時の応急対策業務について、災害協定の締結企業を公表した。空中写真撮影などの業務3件について、8社と協定を締結している。

業務協定 利根川下流河川事務所

決定

21日に表彰式

かなど



【一般建築物の部】
▽キッコマン中央研究所(野田市) 〓〓キッコマンの日建設計、鹿島建設③鹿島建設

【一般建築物の部】
▽カフエ円居(千葉市若葉区) 〓〓織範の飯島さとし建築設計室、まちづくり設計舎③積水ハウス建設関東千葉店、季織苑

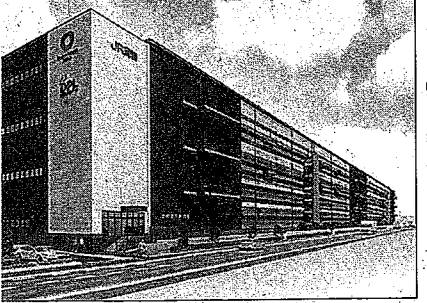
【住宅の部】
▽たがやすいえ(富津市) 〓〓K氏②古谷アサイン建築設計事務所③笹原工務店

【入賞】
▽蔵元飯沼本家主屋(酒々井町) 〓〓飯沼本家の建築設計事務所山田屋③岩瀬建築

【一般建築物の部】
▽The RECORDER DS(千葉市中央区) 〓〓拓匠開発の拓匠開発

シロアナ設計共同体、千葉建築設計事務所③松栄建設

組起で組起



大和ハウス工業(大阪市北区)と日本貨物鉄道(東京都渋谷区、JR貨物)は、千葉市美浜区でマルチテナント型物流施設「DPL千葉レベルゲート」に着工する。構造・事業主は、大和ハウス工業が出資する特定目的会社「千葉貨物施設開発特定目的会社」。

建設予定地は、千葉市美浜区新港3番11ほか。敷地面積は4万8539㎡。京葉道路「六川IC」から約3.5km、を整備

千葉市美浜区に倉

柏の葉に共

積水ハウスが

柏市柏の葉エリアで、共同住宅の建設が計画されている。構造・規模はS造3階建て延べ1650㎡、事業者は個人。設計施工は、積水ハウス・常葉シャトーメゾン支店(柏市)が担当、3月末の着工、2025年2月の完成を見込んでいる。

建設予定地は、柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業区域200街区3画地。面積は1365㎡。